



子どもたちの“知的な追究”に拍手



私からの挑戦状!「算数の謎解き」にチャレンジし、連日、子どもたちが校長室を訪れ、自分の考えを説明してくれます。その中には、考えを紙に書いて説明したり、タブレットに図解して説明したりと、問題にじっくりと向き合い、考えてきた子もおり、その追究態度に大きな拍手をおくりたいと思います。

タブレットを活用して、問題文の内容を図示して、説明してくれた5年生。
知的な追究態度が素晴らしい!!

算数の学習に生きて働く“図示”する力

関係図をかけるようになることが、数量関係を把握し、問題を理解した状態の一つと捉えることができる。

上記のように、算数の文章題を子どもたちが解決する際に、問題を絵や図、数直線などに表す力が大切だと言われています。私が出題した問題文は長文でしたが、タブレットを活用して説明してくれた5年生は、問題構造を自分なりに図示して、とても分かりやすく謎を解いてくれました。問題文を読み取ったことを図示して分かりやすく“はっぴょう”(アウトプット)してくれたのです。これも読解力です。この力は、授業やテストなどの場面で大いに役立つことでしょう。



子どもたちの声に幸せを感じる大人であいたい

早いもので、1月も1日を残すばかりとなりました。とても寒い日が続いていますが、子どもたちの元気な声に、たくさんのパワーをもらっています。当たり前子どもたちが学校生活を過ごしている姿を見ているだけで幸せを感じます。

昨年師走の日曜日の夕方、テレビの「サザエさん」を観ていたら、マスオさんの日常のささやかな幸せのお話でした。タラちゃんと遊ぶことにマスオさんが幸せを感じていたら、マスオさんは仕事で疲れているだろうからという家族の愛情で、朝寝坊させてもらったり、波平さんがタラちゃんと遊んでくれたりします。サザエさんが寝ている自分を起こしてくれることや子どもと遊ぶことに幸せを感じられるマスオさんは素敵だなと思いました。そして、そんなマスオさんを気遣ってくれる家族も素敵だなと思いました。

昨年末に、長野市の公園が閉鎖されることが報道されていました。一部の近隣住民から「子どもの声がうるさい」などと苦情を受けたことなどが原因とのことでした。様々な状況がある中ですので、このことについて、とやかくは言えませんが、朝から夕まで子どもたちの声がし、土日に運動会などのイベントが行われ、休日まで静寂を奪われるとなると、近隣にお住まいの方々も大変なのでしょう。生活が多様化し、昼夜逆転でお仕事に従事されている方や病気をされている方にとっては、何とかしてほしいという思いがあるのだと思います。

幸い、本校の近隣にお住まいの方々にはご理解いただいているようで有り難いです。子どもたちの声、そして、赤ちゃんの泣き声にも幸せを感じられる大人でありたいと感じるこの頃です。